

< 参考資料 >
 平成24年 11月19日
 東京電力株式会社

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/6 >

(データ集約：11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
イシガキダイ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	ND	ND	ND
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	ND	ND	ND
コモンカスベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	67	120	187
ニベ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	7.4	20	27.4
ヒラメ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	40	84	124
マゴチ(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	48	76	124
メジロザメ属(筋肉)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年10月18日	9.2	11	20.2
アイナメ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年10月18日	38	69	107
アカエイ(筋肉)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年10月18日	68	110	178
ガザミ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年10月18日	ND	ND	ND

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.6Bq/kg(生)、Cs-137が約4.8Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/6 >

(データ集約 : 11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
サザナミフグ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年10月18日	ND	ND	ND
ニベ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年10月18日	14	22	36
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年10月18日	24	49	73
ホシエイ(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年10月18日	14	20	34
メジロザメ属(筋肉)	小高区沖合3 km付近(T-S2)	平成24年10月18日	ND	9.8	9.8
アイナメ(筋肉)	小高区沖合15 km付近(T-B1)	平成24年10月25日	16	34	50
イシガレイ(筋肉)	小高区沖合15 km付近(T-B1)	平成24年10月25日	82	130	212
オオクチシナギ(筋肉)	小高区沖合15 km付近(T-B1)	平成24年10月25日	5.0	7.1	12.1
コモンカスベ(筋肉)	小高区沖合15 km付近(T-B1)	平成24年10月25日	86	160	246
チダイ(筋肉)	小高区沖合15 km付近(T-B1)	平成24年10月25日	ND	5.6	5.6

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約7.0Bq/kg(生)、Cs-137が約4.6Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 3/6 >

(データ集約 : 11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
ヒラメ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年10月25日	28	52	80
ブリ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年10月25日	ND	ND	ND
ホウボウ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年10月25日	5.1	7.7	12.8
マコガレイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年10月25日	9.1	25	34.1
マトウダイ(筋肉)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年10月25日	ND	6.9	6.9
アイナメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	15	15
オオクチシナギ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	4.9	4.9
カナガシラ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	6.4	6.4
ジンドウイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	ND	ND
チダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	5.4	7.5	12.9

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約7.0Bq/kg(生)、Cs-137が約5.1Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 4/6 >

(データ集約 : 11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
ヒラメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	37	61	98
ホウボウ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	5.1	7.4	12.5
ホシザメ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	6.0	14	20
マガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	20	20
マコガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	11	15	26
マトウダイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	4.2	4.2
メイタガレイ(筋肉)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年10月25日	ND	5.5	5.5
アカエイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	ND	6.4	6.4
イシガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	14	30	44
カスザメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	33	55	88

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約6.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 5/6 >

(データ集約 : 11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	51	100	151
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	40	74	114
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年10月21日	40	69	109
アカエイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	ND	12	12
イシガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	17	33	50
カスザメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	44	73	117
コモンカスベ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	74	130	204
ヒラメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	45	75	120
ホウボウ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	3.9	11	14.9
マコガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	21	41	62

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約5.9Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 6/6 >

(データ集約 : 11/19)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
マダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年10月21日	ND	ND	ND

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約3.9Bq/kg(生)、Cs-137が約4.0Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施